

波津島ワジャ

「保健機能の復興支援を」

AMD A 岡山で救援活動報告会

7月17日に起きたインドネシア・ジャワ島の地震津波災害で、緊急救援活動を実施した国際医療援助団体「AMD A」(本部・岡山市櫛津)が3日、岡山市内で報告会を開いた。菅波茂代表は「保健センターが津波で破壊さ

れている。保健医療機能の復興を支援したい」と話した。

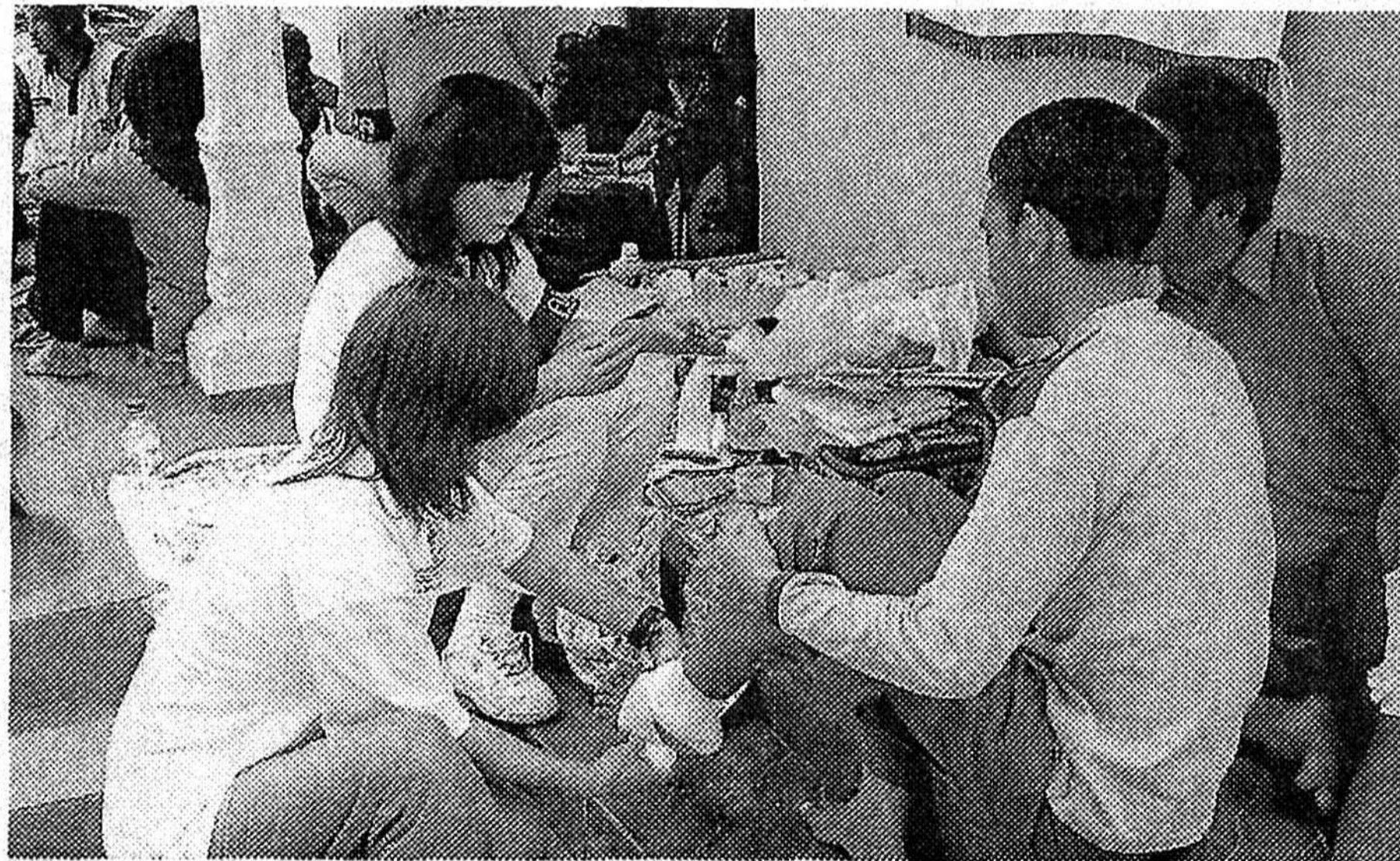
AMD Aは発生翌日に本部から調整員の館野和之さん(43)らを派遣。インドネシア支部の医師らを含む計12人で、切り傷などを負った被災者約5

40人を診察した。

館野さんは被災地の映像を上映し、「海岸に建つホテルが全壊していた。04年のインド洋大津波で破傷風にかかる人が多かったので、インドネシア政府の予防接種に協力した」などと報告した。

今回の災害の死者数は約640人。被災地に駆けつけた外国NGOはAMD Aだけだったとい、菅波代表は「国際社会に援助疲れがあり、死者1000人以下の災害では動けないのでは」と述べた。

【四谷寛】



被災者を治療するAMD Aの看護師、向井信子さん(手前左)と渡辺美英さん(同左)

＝ジャワ島のレゴジャワ村で (AMD A提供)